

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 457 号	氏名	岡 泰由
学位審査委員	主 査	宮崎 泰司	
	副 査	永山 雄二	
	副 査	李 桃生	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価 本研究は、ヒト細胞を用いて DNA 二重鎖切断部位への NIPBL (Nipped-B-like) 蛋白質の集積とその調節機構を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価 紫外線と酵素という二つの方法によって DNA 二重鎖切断を作製し、種々の蛋白質局在は蛍光顕微鏡を用いて検討されている。蛋白質間の相互作用は対象となる蛋白質を siRNA によって減少させたいうえで解析するなど、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、NIPBL が DNA 二重鎖切断部位へ集積すること、その集積は MCD (mediator of DNA checkpoint protein) 1、RNF (ring finger protein) 168、HP (heterochromatin protein) 1<math>\gamma</math> によって制御されることを明らかにし、今後の DNA 二重鎖切断修復機構研究への進展が大いに期待される。</p>			
<p>以上のように本論文は DNA 損傷修復研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（学術）の学位に値するものと判断した。</p>			